

令和5年 第10回森町教育委員会会議録

日 時：令和5年8月24日（木）10：00～

場 所：森町福祉センター（森町公民館） 1階 中会議室

出席委員：毛利教育長・三輪委員・長瀬委員・吉川委員

出席者：坂田学校教育課長

藤嶋学校教育課参事

須藤社会教育課長（兼）森町公民館長（兼）図書館長

木村体育課長（兼）体育館長（兼）青少年会館長（兼）生涯学習課長

石岡森町学校給食センター長

長瀬森町図書館次長（兼）管理係長

加藤学校教育課学校教育係長

西川学校教育課総務係長

葛葉社会教育課社会教育係長

高橋社会教育課文化財保護係長

岩本森町公民館管理係長（兼）事業係長

浅利体育課体育係長

三國生涯学習課生涯学習係長

小林森町図書館奉仕係長

石井学校教育課総務係主事

署名委員：三輪委員・長瀬委員

報告事項：報告第1号 令和5年度一般会計補正予算について

協議事項：議案第1号 令和5年度一般会計補正予算について

議案第2号 森町立学校設置条例の一部改正について

議案第3号 森町地域クラブ活動検討協議会設置要綱の制定について

議案第4号 令和5年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

議案第5号 教育委員会の令和4年度の事務事業の点検・評価報告について

（毛利教育長）

おはようございます。これから令和5年第10回森町教育委員会を開催します。会議に先立ちまして、会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員に三輪委員と長瀬委員を指名いたします。よろしく願いいたします。

それでは最初に教育長の主な行政報告ということで、1ページをお開きください。8月2日から4日にかけて静岡県森町の子供たちとの交流事業を4年ぶりに再開しました。非常に和気あいあいと子供たちも非常に楽しかったと、実はこの間新聞に掲載されたんですけども、静岡県のこの記事で人というところの新聞に載ったんですけども、非常に充実した機

会になりました。来年はこちらの北海道森町から向こうの方に訪ねるという段取りです。4日に「幼稚園教諭研修会」というものを初めて開いてみました。これは私が講師をして、幼稚園の教諭が今少し足りない状況なんですけれども、より良い幼稚園の運用ということでこちらで研修会を開いて好評でした。9日「地域みらい留学」というNPO法人なんですけれども、来館しまして実は森高校が全国から高校生の留学生を集めるようなそういう仕組みをお手伝いできますよという話を持ってきたんです。来月9月に町長も交えてもう一回じっくり予算面を含めてお話を聞いてそれから森町としてそこに加わるかどうかということを決めていきたいと思っておりました。これによると上手くいっている地域でも毎年数名ずつこの制度を使って主に都会から地方の高校に留学する生徒さんがいるということです。それから17日「函館市部活動地域クラブ活動協議会」というのがありまして、講演会形式だったものですから、私が行って除いてきました。どこの町も地域クラブ活動への移行というのが課題になっていまして、今日議題の中でも申し上げますけれども、森町でもその取り組みを進めて参りたいと思っておりました。17日から18日「森町×玉川大学 交流プロジェクト」こちらも相当歴史があって、社会教育課がメインで担当していますけれども、これも学生さんが来て森町の子供たちと色々と事業の一環なので「こんなことをして子供たちと接したい」だとか、「こんなところで体験・経験したい」ということをこちらと連携を取りながら毎年実施しているものです。今年も大変好評で、学生さんも一生懸命取り組んでくれていました。以上が行政報告です。特に詳しく確認したいことはありますか。

(教育委員一同「ありません」の声)

(毛利教育長)

それでは報告事項に参ります。報告第1号「令和5年度一般会計補正予算について」です。

(木村体育課長(兼)体育館長(兼)青少年会館長(兼)生涯学習課長)

はい、それでは報告第1号「令和5年度一般会計補正予算について」ご説明いたします。本補正予算は前回の教育委員会で内容につきまして概要を説明させていただいておりましたが、改めて補正内容についてご説明いたします。資料は5ページをお開き願います。公民館費についてですが、修繕料の増額補正で、1,155千円となっております。7月上旬に森町砂原公民館及び町賃貸住宅にて水の供給が出来ない状況となり、業者により原因を調査したところ取水管理施設内の給水送水ポンプの故障による原因であることが判明しました。対象設備の故障により森町砂原公民館等への施設への給水が出来ず、大きな支障をきたし、緊急を要するものであるため、関係部局と協議のうえ専決処分にて修繕対応することとなりました。その後業者と契約を締結のうえ対象ポンプの取替を早期に実施し、現在は解消し各施設への給水も問題なく出来ております。今回の補正に係る内容は以上になります。

(毛利教育長)

はい、皆さんから質問等ございますか。これについては直さざるを得ないというところで急遽修繕を行いました。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

はい、それでは次に協議事項に入ります。議案第1号「令和5年度一般会計補正予算について」です。

(坂田学校教育課長)

議案第1号「令和5年度一般会計補正予算について」ご説明いたします。町長に対し、議案作成方、意見の申出をしようとするものでございます。この補正予算につきましては、第5回目となるものでございます。歳出について、ご説明いたします。8ページをお開き願います。款10教育費、項1教育総務費、目2事務局費、9ページ、節11役務費の手数料234千円の増額補正につきましては、今年度解体する濁川小学校教員住宅内に廃棄しなければならない物品が多く、職員では対応しきれないため、廃棄物処理手数料を補正予算計上するものでございます。10ページ、項2小学校費、目1学校管理費、11ページ、節10需用費の修繕料839千円の増額補正について、ご説明いたします。要求書右側の内訳に記載している、10の鷲ノ木小学校の旗ポール修繕については、旗を巻き上げるリール部分の破損とワイヤーが切れているため修繕を行うものでございます。

20の森小学校のふれあい広場カーテン修繕については、今後、森小学校のふれあい広場を森幼稚園の遊戯室や発表会等に使用するため、修繕を行うものでございます。

30のさわら小学校の理科室天井開口修繕については、ワイヤーが切れ、カーテンが開閉できない状況となっているため、修繕を行うものでございます。

40のさわら小学校の廊下天井張替え修繕については、天井に穴が開いている状況であることから、修繕を行うものでございます。

節13使用料及び賃借料の自動車借上料50千円の増額補正については、令和5年度の新年度予算に令和6年度からの駒ヶ岳地区の児童の通学用の10人乗り車両の借上料1か月分を計上しておりましたが、新年度予算策定時の見積徴収車両が新型車となり、値上がりしたため補正予算計上するものでございます。

節17備品購入費の施設用備品5,709千円の増額補正については、次年度から森小学校に通学する駒ヶ岳地区及び尾白内地区の児童分を含めた、森小学校の全児童分の児童用机を購入するものでございます。

消火器の79千円の増額補正及び12ページの項3中学校費、目1学校管理費、13ページの節17の備品購入費の消火器13千円の増額補正につきましては、消火器が値上がりし

たため補正予算計上するものでございます。

14ページ、項4幼稚園費、目1幼稚園費、15ページ、節10需用費の光熱水費の240千円の増額補正につきましては、森幼稚園について、当初は9月末を目途に、森小学校内へ移転する予定で電気料及び水道料を予算計上しておりましたが、移転時期が11月中旬となったため、不足する分を補正予算計上するものでございます。学校教育課につきましては、説明は以上でございます。

(毛利教育長)

はい、課ごとに区切ります。学校教育課で皆さんの方から質問等ございますか。

(三輪委員)

必要経費ですから、良いのではないのでしょうか。

(毛利教育長)

はい、必要な事しかあげていないつもりなんですけれども、よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それではこのように進めたいと思います。続きまして社会教育課です。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

それでは公民館の歳出についてご説明いたします。16ページをお開きください。項5社会教育費、目2公民館費につきましては、440千円の増額をしようとするものです。17ページをお開きください。節10需用費の修繕料440千円の増額につきましては、公民館の各部屋に設置されておりますストーブに燃料用の灯油を供給するための配管が露出する状態で外壁に取り付けられております。冬季間に屋根からの落雪・落氷により配管が破損し、ストーブが使用できなくなることから、破損防止のための鋼鉄製のカバーを取り付けようとするものでございます。説明は以上でございます。

(毛利教育長)

はい、社会教育課についてですが、いかがでしょうか。毎年のように冷や冷やして過ぎていましたので、カバーを今回取り付けます。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

はい、それでは次に体育課、生涯学習課です。

(木村体育課長(兼)体育館長(兼)青少年会館長(兼)生涯学習課長)

続きまして、体育課に係る補正内容についてご説明いたします。

21ページをお開き願います。保健体育総務費についてですが、節3職員手当の16,000円については、会計年度任用職員に係る通勤手当の増額補正の内容となっております。続きまして、節18負担金補助及び交付金 各種スポーツ大会等参加負担金 730,000円については、7月に剣道少年団所属の選手6名が東京で開催された全国大会に出場しました、同じく7月にバスケットボール少年団所属の選手7名が北見市で開催された全道大会に出場し、活躍しております。その結果、当初予算額800,000円に対して、約970,000円の支出見込みとなっております。今後、バドミントン少年団所属の選手4名が9月に札幌市で開催される全道大会の出場が決定しております、その他今後の大会出場などを想定した上で、今回730,000円を増額補正して対応しようとする内容のものであります。体育課に係る補正説明は以上となります。

続きまして、生涯学習課に係る補正内容についてご説明いたします。

19ページをお開き願います。公民館費についてですが、節10需用費 修繕料36,000円については、森町砂原公民館の男子トイレ小便器 2基について不具合が発生し使用出来なくなっているため、不具合個所の修繕対応を行なおうとする内容のものであります。

続きまして、23ページをお開き願います。体育施設費についてですが、節10需用費 修繕料42,000円については、森町ファミリーヘルスプラザのシャワー室に繋がる配管の一部において、不具合が発生しているため、不具合個所の修繕対応を行なおうとする内容のものであります。生涯学習課に係る補正説明は以上となります。

(毛利教育長)

はい、生涯学習課、体育課併せて皆さんの方からご質問等ございますか。

(教育委員一同「ありません」の声)

(毛利教育長)

それではこのように進めて参ります。続きまして給食センターについてです。

(石岡森町学校給食センター長)

それでは次に給食センターの部分についてご説明いたします。資料25ページをお開き願います。学校給食費、需用費の修繕料433千円の増額補正についてご説明いたします。内訳1番の「プレハブ冷凍庫修繕」についてですが、冷凍庫の室外機のコンプレッサー内にあ

るピストンが経年劣化で固着し、その反動で電圧に負荷がかかり運転不能となりました。給食提供に大きな影響を及ぼすことから、早急に修繕するものです。続きまして内訳2番の「洗浄機エア用レギュレーター修繕」ですが、食器洗浄機のエア用レギュレーターの開閉バルブが破損し、応急的に対応しましたが、主要管のバルブについても劣化しており、現部品が製造中止となっているため、後継の部品に交換修繕するものです。続きまして内訳3番の「反転ほぐし機異常音修繕」ですが、装置内の回転軸になる軸受が劣化しており、内部のベアリング等の破損によりこの装置が使用できない場合、配食作業時間に大幅に時間がかかり、給食開始に時間に影響を及ぼすことから、早急に交換するものです。内訳4番の「非常通報装置専用蓄電池取替修繕」ですが、停電時に使用する蓄電池の経年劣化による交換となります。続きまして内訳5番「サラダ油配管漏洩修繕」ですが、フライヤー機器にサラダ油を送油する配管で、繋ぎ目の接合部における部品劣化に伴う部品交換となります。最後に内訳6番の「調理機器等修繕一式」は急な故障などに対応するために100千円を計上しております。続きまして学校給食費節17の備品購入費ですが、79千円の増額補正について、内訳1番の電気衣類乾燥機についてですが、安心安全な給食を提供するため、衛生管理マニュアルに基づき、適切な衛生管理を行う必要があります。その中で使用した後の調理服やエプロン等を毎回洗濯し、菌の増殖を抑えるため、衣類乾燥機で十分に乾燥させ、消毒保管庫に保管しておかなければなりません。その乾燥機が使用して16年以上経過し、コネクタ等の部品が故障して乾燥できなくなりました。また乾燥機が古く、故障個所の部品も無いため、修理不可能なことから、新規購入となるものです。説明は以上です。

(毛利教育長)

はい、以上の内容です。どれも必要なこととはいえ、皆さんから何かご質問等ございますか。

(教育委員一同「ありません」の声)

(毛利教育長)

それではこの通り予算要求を進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。他ありますか。よろしいですね。それでは続きまして議案第2号「森町立学校設置条例の一部改正について」です。

(坂田学校教育課長)

議案第2号「森町立学校設置条例の一部改正について」ご説明いたします。森町立学校設置条例の一部を改正する条例を次のように定めようとするものでございます。資料及び新旧対照表を添付しておりますのでご参照願います。28ページをご覧ください。森幼稚園の森小学校内への移転に伴い、森幼稚園の位置について、「上台町148番地3」を「清澄町27

番地1」に改めるものです。附則として、この条例は令和5年11月14日から施行するものです。説明は以上でございます。

(毛利教育長)

はい、住所変更ということになります。今課長からありました通り11月14日から新しい環境での教育が始まるという風にとらえていただければと思います。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それでは次に。議案第3号「森町地域クラブ活動検討協議会設置要綱の制定について」です。

(坂田学校教育課長)

議案第3号「森町地域クラブ活動検討協議会設置要綱の制定について」ご説明いたします。森町地域クラブ活動検討協議会設置要綱を次のように定めようとするものでございます。32ページをご覧ください。

第1条では、森町立中学校の生徒が、将来にわたりスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するため、中学校の部活動の地域移行に向けた課題等について総合的に取り組むため、森町地域クラブ活動検討協議会を設置することとしています。

第2条の所掌事務では、協議する事項として、地域クラブ活動に係る仕組みづくりに関する事項、その他部活動の地域移行に関し必要な事項としております。

第3条の組織では、15人以内で組織し、第2項に記載のとおり、第1号の森町スポーツ協会代表から第10号のその他教育長が必要と認めた者のうちから教育委員会が委嘱又は任命することとしております。

第4条には委員の任期、第5条には委員長及び副委員長、第6条には会議、第7条には庶務、第8条にはその他を規定しております。

附則として、この訓令は、令和5年9月1日から施行するものです。説明は以上でございます。

(毛利教育長)

はい、行政報告でも申し上げましたように、地域クラブ以降については今全国的に全自治体で取り組んでいる内容でして、この2～3年を集中期間として取り組むべしとなっております。森町においてもどのような形が望ましいかというようなことから、協議を始めていきたいと思っておりますので、協議会を設置して意見を頂戴しながら方向性を見つけていきたいと思っております。時には町民の皆さんに声をかけながら意見を聞いていくことになろうかと思

いますし、教育委員の皆さんにも都度こういう内容でしたということを今後お知らせしていくことになるかと思えます。質問等はよろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それではこのように進めて参りますので、よろしく願いいたします。引き続きまして議案第4号「令和5年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について」です。

(坂田学校教育課長)

議案第4号「令和5年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について」をご説明いたします。例年実施しています、全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」に森町の結果を掲載することについて同意を頂くものであります。

35ページをお開き願います。結果公表に関する道教委の考え方としまして、道教委の説明責任、町教委の説明責任の基本的な考え方を記載しております。36ページには具体的な公表のしかたの考え方を記載しております。37ページには令和4年度に実際に公表しました、内容を添付してございます。今年度もこのような形で公表しようとするものでございます。以上でございます。

(毛利教育長)

はい、これは毎年もちろん変化はあることですが、これも毎年公表をこういう形でしております。このことについて何かご質問等ございますか。

(三輪委員)

前回と比べて何か特別変化はありますか。

(毛利教育長)

今年度は中学校が健闘しておりまして、国語だったと思いますが全国越えのものも出てきていて、私が来てから見ても非常に学校自体が落ち着いている学校が多いですので、中学校は両校ともに非常に学習に集中している状況が見られて、徐々にそういうところも現れてくるのかなと思っております。向上しています。

(三輪委員)

わかりました。



(毛利教育長)

他に無ければ例年に倣って公表していきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。それでは第4号を終了しまして議案第5号「教育委員会の令和4年度の事務事業の点検・評価報告について」です。

(坂田学校教育課長)

議案第5号「教育委員会の令和4年度事務事業の点検・評価報告について」ご説明いたします。なお、この点検・評価につきましては、公表するものでございます。学校教育課から順に、各課担当者よりご説明いたします。

(加藤学校教育課学校教育係長)

それでは、議案第5号 教育委員会の令和4年度事務事業の点検・評価報告についてご説明いたします。別冊の1ページをご覧ください。外部点検・評価者について記載しております。学校教育課・幼稚園に関する事業の外部点検・評価者は、学識経験者の山田活美さんをお願いしております。

それでは、2ページをご覧ください。学校教育課・給食センターに関わる事務事業一覧表になっております。全て、おおむね良好ということで外部評価をいただいております。次に3ページをご覧ください。一番右側に事業名、下段に外部評価の内容やコメントが書かれております。教育水準向上対策事業につきましては、おおむね良好ということで評価をいただいております。今後も、学校教育部、社会教育部の連携を強化しながら進めてまいります。次に4ページをご覧ください。スクールバス運行事業につきましては、スクールバスが年々老朽化してきている状況であります。特に森中学校のスクールバスにつきましては、老朽化の進んでいる車輛もあり、今後もスクールバスの状況をみながら、必要に応じて修繕対応をし、古いスクールバスについては、計画的に更新をしていく計画でございます。次に5ページをご覧ください。児童・生徒各種競技会参加補助事業につきましては、良好ということで評価をいただいております。各種競技大会への参加費や交通費、宿泊費などを助成しております。引き続き、予算を確保しながら充実を図ってまいります。次に6ページをご覧ください。経済的な理由を有する児童生徒の就学支援事業につきましては、良好ということで評価をいただいております。奨学金の貸付と、要保護及び準要保護者に対して、学用品費の援助を行っております。今後も社会情勢に応じて、支援体制の充実と財政面での予算の確保に努め、継続して行ってまいります。次に7ページをご覧ください。特別支援教育の推進事業につきましては、良好ということで評価をいただいております。特別支援教育支援員を9名配置しております。今後も、支援が必要な子供がいることから、支援員の配置の継続や支援内容や消品や備品などの整備の充実を図ってまいります。次に8ページをご覧ください。英語指導助手招致事業につきましては、良好ということで評価をいただいております。今後も2

名体制を維持し、英語教育の充実を図ってまいります。次に9ページをご覧ください。学校保健の充実事業については、良好ということで評価をいただいております。引き続き、健康の保持増進のため、児童生徒及び教職員の健康診断を行い、心身ともに、安心して学習に取り組めるよう進めてまいります。次に10ページをご覧ください。幼児教育の充実については、良好と評価を頂いております。今後も、豊かな幼児期を過ごせるよう、更なる子育て支援の充実に努めてまいります。学校教育課の説明は以上でございます。

(毛利教育長)

はい、課ごとに説明を切ります。何か皆さんから少し聞きたいこと等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それでは課を変えて説明を続けます。給食センターです。

(石岡森町学校給食センター長)

続きまして給食センターの部分につきましてご説明します。資料1ページをお開きください。給食センターの外部点検・評価者は森町学校給食センター運営委員会会長で砂原中学校の田中校長をお願いしております。資料11ページをお開きください。事業名は「学校給食を通じた食育の推進事業」で、事業内容は③の部分ですが、「食に関する正しい知識や望ましい食習慣の育成」と「学校給食の管理及び充実」となっております。また下の方の点検・評価にあたって特記する事項に記載がありますが、「栄養教諭による食に関する指導」や「安全安心な食材の購入で地産地消の取組み」を行っております。評価者の評価結果について「栄養教諭による食に関する指導は、子どもたちの基本的な生活習慣の確立の面でも大変効果的である」、「地産地消による新鮮な食材の確保、生産状況の確認による安心感、子どもたちの自然や生産者への感謝の心を育む」など、地産地消の活用は評価できるとしながら、「安心・安心な給食の安定供給のため、調理機器の更新を計画的に進める必要がある」との指摘を受けました。総合評価は良好となっておりますが、今後も安心・安全な給食の安定供給をし、様々な工夫を加えながら事業を継続していきたいと思っております。説明は以上となります。

(毛利教育長)

はい、給食センターに関してです。皆さんからご質問等ございますか。

(三輪委員)

ちょっと財政面の(評価の)ところが「3」となっていますけれども、「良好」ではなくて。

これは食材の確保の部分で金銭的な部分で何かあったのでしょうか。

(毛利教育長)

どうですか。評価を受けてここが「3」ということに対して、把握している範囲で。

(石岡森町学校給食センター長)

食材の高騰の部分もありますし、調理機器の修繕だとかもお金の面でかかってきています。そこら辺の指摘と思われます。

(毛利教育長)

ちょうど給食費の値上げをした時というのもあって、そういう金銭面での反応があったのではないかと思います。

(三輪委員)

わかりました。

(毛利教育長)

他にご意見・ご質問等ございますか。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それでは課を替えます。社会教育課からです。

(葛葉社会教育課社会教育係長)

続きまして、社会教育課・公民館事業についてご説明いたします。資料1ページをお開きください。社会教育課・公民館事業の外部点検・評価者は社会教育委員15名、文化財事業に関しては、文化財調査委員5名にお願いしております。

12ページをお開きください。新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、事業の「開催・延期・中止」決定を行い、社会教育課では、11事業を開催しております。外部評価の結果につきましては、総体の「3」妥当又は「4」良好となりました。

13ページをお開きください。「成人式式典事業」について、一生に一度の記念行事であることを念頭に、式典内容や記念品の変更、来場者制限など感染防止対策を行い、新成人及びその家族の協力により円滑な式典運営を図ることができました。実績として、新成人87名と来賓・主催者7名及び保護者等47名の合計141名が来場しております。総体評価は「4」良好との評価をいただき、多くの点検・評価コメントが寄せられました。なおコメントに名

称変更についての記述がありましたが、記載のとおりアンケートを行い、「成人式」の名称で決定しておりますので報告いたします。今後も式典内容を検討しながら、開催できるよう工夫していきたいと考えております。

14ページをお開きください。教対協社会教育部心を育てる活動班事業の「ふれあい体験教室」は、新型コロナウイルスの感染による学級閉鎖のため1回延期となりましたが町内小学校3年生～6年生を対象に計6回実施されております。登録児童数21名、延べ参加児童数が75名となりました。地域住民や学校区を超えた交流が行われ、児童も様々な体験をすることで参加意欲が高まっていました。総体評価は「4」良好の評価をいただきました。コメントの中で、参加費についての記載がありましたが、参加費は従来保険料を徴収していましたが、公民館保険に加入したことで保険料が不要となり、徴収していません。今年度についても、実施内容や募集方法を検討しながら継続していきたいと考えております。

15ページをお開きください。芸術鑑賞事業「ウィンタークラシックコンサート」は、森町にゆかりのある演奏家を中心にクラシックコンサートを開催しました。総体評価は「4」良好の評価をいただきました。本格的な芸術鑑賞ができる機会のため、多くの町民が、来場してもらえよう、実施内容の検討やまた、コメントで周知方法についての記載があり、募集や周知方法を検討しながら継続していきたいと考えております。

16ページをお開きください。もりの寺子屋事業は、夏休み・冬休みの長期休暇序盤に通常の学校生活と同じく午前中に自主学習・自由研究を行うことにより、家庭学習の習慣化や学力や集中力の向上を図ることを目的としております。また、退職者教員や教対協社会教育部及び高校生等を講師として活用することで、地域人材の発掘と育成も行っております。感染症対策による学校閉鎖のため夏休みの開催はできませんでしたが。冬休みについては間隔をとった座席配置など、感染症対策をとりながらの開催となりました。参加児童からは「また参加したい。」との声が多く、地域児童に定着した事業であり、また高校生や退職教員等の協力を得ることで、世代間交流ができる機会となっています。総体評価は「4」良好の評価をいただきました。多くの児童が参加する事業のため、今後も継続開催していきたいと考えております。

17ページをお開きください。「森町文化協会補助事業」については、文化祭や俳句大会の開催及び道民芸術祭渡島管内祭に参加しました。文化祭については従来森地区・砂原地区の2会場で行っていましたが。参加団体の減少のため1会場での開催となりましたが、地区に関係なく交流が図られました。道民芸術祭渡島管内祭については。令和4年度については文化協会関係者のみの参加でした。今年度は森地区で文化祭の舞台発表があるため、関係者及び団体へ周知したいと考えております。総体評価は「4」良好の評価となりました。

18ページをお開きください。「社会教育関係教材冊子配付事業」です。森町内の自然散策や歴史探索に触れる機会を提供し、健康維持と家庭内交流の促進を図ることを目的とした事業です。実績として、合計29件の配付となり学習・軽運動・交流を促す情報発信ができたものと捉えております。総体評価は「3」妥当の評価をいただきましたが、今後も周知やP

R方法を検討しながら継続していきたいと考えております。

19ページをお開きください。「もりっこまつり事業」です。感染症対策のため、事前申込とグループによる行動、1ブースの時間制限などを行い開催しました。そのため、参加人数は57名となったが、3年ぶりに開催でき、参加団体の活動する場を提供できたことは良かったと感じております。総体評価は「3」妥当の評価をいただきました。

20ページをお開きください。「静岡県森町友好親善事業」です。感染防止のため令和元年から延期となっておりましたが、関係団体や静岡県森町の協力のおかげで無事開催することができました。総体評価は「4」良好との評価をいただき、コメントにも、両町の交流や女性研修の場として今後も続けてほしいとの記載があり、関係団体や静岡県森町の連携・協力をしながら続けていきたいと思っております。説明を交代いたします。

(高橋社会教育課文化財保護係長)

文化財の事業について説明です。21ページをお開きください。「鷲ノ木遺跡見学会」です。鷲ノ木遺跡の案内を7月から10月の土日祝日のうち15日間、解説付きで実施し、合計220名が参加し、そのうち町内は36名、町外は184名となりました。外部評価は総体で良好の「4」となり、内容の充実と周知方法の検討を図りながら、継続していきたいと考えております。

22ページをお開きください。「遺跡発掘調査事務所展示室公開」です。町内の歴史や文化について情報発信している発掘調査事務所展示室を一般公開するもので、来館者は1,219名でした。外部評価は総体で良好の「4」となり、引き続き、来館者の理解度や満足度の向上を目指し、運営していきたいと考えております。

23ページをお開きください。「文化財講座」です。森町の文化財とその保護の取り組み等を様々な視点から紹介する講座であり、「古文書から見る森町の歴史」等のテーマで3回実施しました。参加者数はのべ30名でした。外部評価は総合で良好の「4」となり、今後も参加者の興味関心に沿って、学習機会の向上を目指した講座内容の充実に努めていきたいと考えています。以上、社会教育課の説明を終わります。説明委員を交代します。

(岩本森町公民館管理係長(兼)事業係長)

令和4年度 公民館事業についての説明をいたします。令和4年度の森町公民館事業については社会教育事業と同様に新型コロナウイルス感染状況を踏まえながらの2事業を開催しました。公民館事業としまして広い世代を対象にした趣味や健康づくりを目的とし参加者同士のコミュニケーションづくりや世代間交流が図れるよう学習機会を提供することを目的とし公民館講座は3教室・文化講演会は1講演を実施しました。

25ページをお開き下さい公民館講座として令和4年度は3教室実施しました。1つ目は押し花教室を実施、3月22日に実施しております。町内在住者を対象としコロナ感染防止の事から参加人数限定20名とし参加者11名の参加をいただきました。事業内容は 趣味

づくり、家庭でできるような趣味とのことで押し花を使用した小物づくり教室を実施しました。2つ目は親子体操教室、3月28日に実施しております。町内在住者の親子を対象とし親子で楽しみながら体を動かしスポーツに親しむという保護者同伴で参加するとのことで定員15組のところ参加者7組総勢14名に参加していただき実施しました。3つ目の運動健康教室を3月29日に実施しました。こちらにつきましても同様に町内の幅広い世代の参加者を対象に実施し12名の方に参加していただき実施しました。いずれの講座もコロナ感染対策をしながらの実施となりましたが参加者からは「楽しかった」、「また実施してほしい」などの声をいただきました。また親子で参加する講座により子供同士の交流はもちろん親同士の交流の場も提供することができ幅広い世代間の交流の場を提供することができました。外部評価は総体で「3妥当」という評価をいただきました。今後は、これからの時代に合わせた講座や教室を実施する予定であります。

次に26ページを開きください。こちらの事業は「文化講演会」を実施しました。こちらの事業は森町文化講演会と称し著名人を講師に招き本来であれば文化祭行事に合わせての実施とすることでしたがコロナウィルス流行・感染状況の観点のとの事から時期をずらし令和5年3月18日に弁護士の菊池幸夫氏を講師に招き、「菊池流 魅力的人生の勧め」を実施し、115名の来場者に参加いただきました。著名人を通じた講演会を実施することにより地域住民の文化振興・生涯学習に対して意識高揚を高めるとのことで実施しました。外部評価は総体で「3妥当」との評価をいただきました。公民館事業につきましては多種多様な講座の開催を望む声が多く・参加対象世代に合わせた事業内容・時代に合わせた講演会などを考慮し今後も継続することとします。社会教育課、公民館事業係からの点検・評価報告は以上となります。

(毛利教育長)

はい、ここで区切りを一つ付けます。社会教育関係ですが、多種多様な事業となっておりますが、皆さんからご質問等ございますか。あまりにも多くて何をどう聞いたらというところかもしれません。

(三輪委員)

一般の方々に魅力あるという中で、色々と検討していると思いますけれども、参加者を集めるのがやはり一番ご苦労されているのではないかなと。なのでもう少し周知の仕方というもの、もう一つ違ったようなものを考えてみるのも良いのではないかと思います。

(毛利教育長)

何かありますか、周知の仕方について。

(須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長)

こちらからの何か回答という形でしょうか。

(毛利教育長)

回答というか何か考えとかがもしあれば。

(須藤社会教育課長 (兼) 森町公民館長 (兼) 図書館長)

はい、今言ったところで周知の部分が足りなかったところは確かにありまして、そういったところはもう少し工夫しながらもう少し出来るところがあるのではないかと考えておりますので、進めていきたいと思っております。

(毛利教育長)

コロナに関しても5類移行になってからの年度を今迎えております。ここに評価したのは昨年度まだコロナの影響が非常にあった頃なので、動向も見ながら周知方法も工夫しながらというようなことを考えたいと思っております。他ございますか。無ければ課を替えます。生涯学習課をお願いします。

(三國生涯学習課生涯学習係長)

続きまして生涯学習課の事業につきまして、ご説明いたします。資料1ページをお開きください。生涯学習課の外部点検評価者につきましては、社会教育委員の佐藤真喜子さま、三戸明子さまの2名に評価をいただきました。

続きまして、27ページをお開きください。生涯学習課では9事業につきまして、評価を行いました。外部評価の結果につきましては、「4. 良好」または「3. 妥当」ということになっております。

28ページをお開きください。「実年大学」事業では、砂原地区在住の高齢者を対象に健康づくり教室や工作教室など計6回開催しました。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、終了式の中止や回数を減らしました。

29ページをお開きください。「夏休み子ども工作展」事業については、町内の小学生を対象とし、令和4年度は125点の出展がありました。今後も参加促進を図りたいと思っております。

30ページをお開きください。「青森県外ヶ浜町交流事業」では、友好町であります青森県外ヶ浜町交流事業として文化財交流を実施しました。今年度は青森県外ヶ浜町より8名の方が来町し、森町発掘調査事務所、鷲ノ木遺跡、榎本軍鷲ノ木上陸跡地の3ヶ所を見学し交流事業を実施しました。

31ページをお開きください。「どろんこ塾」については、町内在住の小学生を対象にした事業で、新型コロナウイルス感染症予防対策のため回数を減らしましたが5回実施しました。今後もアンケート結果をもとにした事業内容を検討し、参加者増に努め、継続したいと思っております。

32ページをお開きください。「子どものひろば」は、砂原地区の幼稚園児・小学生を対象にした事業で、6回施しました。今後も周知方法の工夫をして参加者増に努め、継続したいと思います。

33ページをお開きください。「モデルロケット教室」では、町内在住の小学生を対象にした事業で、物づくりの楽しさや科学に対する興味を深めるため、今後も継続したいと思います。

34ページをお開きください。「書き初め席書大会」については、町内の小中学生を対象に実施しております。日本の伝統文化に触れる良い機会だと考えられますので、継続したいと思います。

35ページをお開きください。「あったかさわらパークゴルフ大会」は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止しておりましたが、3年振りの開催となりました。町内在住者限定の大会ですが、コロナ前と変わらず盛況でした。

36ページをお開きください。「あったかさわら道南パークゴルフ大会」についても、3年振りの開催でした。道南在住者対象の大会であり参加者の交流も図れるので、今後も継続していきたいと思います。

また、27ページに記載がある2事業の「子ども体験フェスティバル」、「ふれあい運動会」については、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止となりました。説明は以上です。

(毛利教育長)

はい、ここで切ります。生涯学習課関係でいかがでしょうか。よろしければ次に進みます。図書館お願いします。

(長瀬森町図書館次長(兼)管理係長)

それでは図書館より事業についてご説明申し上げます。まず評価者につきましては改めてですが1ページをご覧ください。森町図書館協議会委員ということで7名、堺恵美子氏他6名に評価をお願いしております。では37ページをお開きください。事業一覧表にありますとおり、今年度は昨年度に引き続き6事業につきまして評価をいただきました。なお、昨年ありました「出張おはなし会事業」につきましては、「出張図書館事業」と名前を変えておりますけれども、後ほど説明しますが、出張おはなし会に折り紙教室の内容を加えたために出張図書館事業と名前を変えております。自己評価の結果につきましては、総体で「ブックスタート事業」、「図書館まつり事業」、「出張図書館事業」が4の良好、3の妥当なのに対して、外部評価の結果につきましては総体で、「図書館資料の整備事業」、「ブックスタート事業」、「図書館まつり事業」、「出張図書館事業」が4で、残り2事業が3となりました。それでは内容に入ります。

38ページをお開きください。「図書館資料の整備事業」ですが、良質な図書資料や書籍を収集し提供することにより、学習機会の充実を図ってまいりました。評価は良好の4ですが、



今後も古い本などの除籍を進めつつ本の配置を工夫するなど、利用しやすい図書館を目指していきたいと考えております。

39ページをお開きください。「移動図書配本事業」です。図書館から離れているため、なかなか利用できない住民、主に子どもを対象に気軽に本を読んでもらえるよう、れ岩4年度は町内11か所に配本所を設け実施しております。

評価は妥当の3ですが、令和4年3月末をもって濁川小学校が廃止となったことから、11か所となり、配本のあり方なども検討していきたいと考えております。

40ページをお開きください。「子ども読書の日事業」です。より幅広い分野の図書を用意し、子ども読書の日及び子どもの読書週間に向け、森町図書館からのお知らせを作成・配布し読書啓発を図ってまいりました。

評価は妥当の3ですが、PR方法を工夫しながら実施していきたいと考えております。

41ページをお開きください。「ブックスタート事業」です。赤ちゃんと保護者を対象に、心触れあうひとときを持てるよう、保健センターで行われている3か月健診時に50組を対象に実施しております。評価は良好の4ですが、今後も子育て充実の観点から継続実施していきたいと考えております。

42ページをお開きください。「図書館まつり事業」です。本の交換市、あそびの広場など複数のコーナーを開設し実施しているものであり、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う令和2年度の中止を除きまして毎年実施しているものなんですけれども、新型コロナウイルスの感染拡大が引き続き続いていたことから、令和3年度と同様、2日間に分けて、2つの行事、1日目に本の提供市、2日目にはおはなし会と分割して開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大により、行事が出来なかったこと、在庫本が多数となったこともあり、令和4年度に関しましては交換市に代わって、貸出対象者を対象に券を配って提供市ということで交換ではなくもらうという行事を実施しております。おはなし会ですけれども、夏の時期にちなみまして、怪談、怖いおはなし会を読書ボランティアの協力の下実施しております。

工作キットの配布と、本の交換市を日程を分散して実施いたしました。

評価は良好の4ですが、今後も内容の充実を図りながら実施していきたいと考えております。

最後に43ページをお開きください。「出張図書館事業」です。先ほどお伝えしたとおり、おはなし会事業の内容に加え、折り紙教室を実施したことから、事業名を変更して報告しております。おはなし会については、森幼稚園は当館の職員が、さわら幼稚園は読書ボランティアが演者となって実施しております。折り紙教室は実は多くの図書館で行っているものです。その中で新たに昨年折り紙講師が見つかったため、今年の1月にさわら幼稚園で年長児を対象に折り紙教室を実施しております。評価は良好の4ですが、今後も各種感染症の流行状況を踏まえて、幼稚園や学校を対象に実施していきたいと考えております。説明は以上でございます。

(毛利教育長)

それでは図書館の現時点でのつくりというのがコロナ感染から大きく影響を受けた建物でして、なかなか事業をやるにも人を集めづらかったというか、そういう制限は多いエリアです。皆さんからご質問があればお願いします。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

では続けて体育課関係です。

(浅利体育課体育係長)

続きまして体育課の事業についてご説明いたします。44ページをお開きください。体育課の外部点検・評価者につきましては、森町スポーツ推進委員会委員長と他3名です。体育館では、5事業について、評価を実施しております。外部評価につきましては、各事業ともに総体で「3妥当」という評価をいただいております。

45ページをお開きください。各事業シートの説明につきましては、目的と事業概要のみ説明させていただきます。自主スポーツ活動の推進事業ですが、各種競技団体等、町民のスポーツ活動の支援を目的としております。事業内容でございますが、町民体育館・サンビレッジ森・青少年会館等の貸館であり、各体育施設の利用状況は、全体で前年度と比較して、119名の減となっております。

46ページをお開きください。「スポーツ少年団育成事業」ですが、スポーツ少年団の活動を中心に、団の自主運営とその育成指導を図ることを目的としています。令和4年度の少年団数は10団体、団員数は184名となっております。主な事業内容として、各少年団主催の近隣市町大会の開催、各少年団の全道・全国大会への参加負担金や、森町スポーツ少年団への補助金交付を行っております。

47ページをお開きください。「教対協社教部健康を作る活動班事業」ですが、町民の健康、体力づくりの推進を目的として、各種事業の実施に対しまして協力しております。令和4年度の班員数は12名となっております。主な事業内容と参加人数は、森町体育協会との共催事業であるオニウシ公園周回マラソンで137名となっております。小学校玉入れ大会36名となっております。町民グラウンドゴルフ大会、冬季スポーツフェスティバルにつきましては、大雨及び積雪不足により中止となっております。

48ページをお開きください。「体育協会補助事業」ですが、スポーツの振興と加盟団体の充実をはかり、住民の健康増進に努めることを目的としております。令和4年度加盟団体数は14単協、協会員数は416名となっております。主な事業内容は、オニウシ公園周回マラソン大会、町民玉入れ大会、各単協主催の町民大会となっております。冬季スポーツフェスティバル、スキー教室につきましては、積雪不足により中止となっております。

49ページをお開きください。「学校開放事業」ですが、学校教育に支障のない範囲で学校

の施設を開放し、地域スポーツ等の振興及び子供の安全な遊び場を確保することを目的としております。学校別の体育館開放数及び利用人数については、資料に記載のとおりでございますが、主な利用団体は、各少年団及び町内のサークルとなっております。体育課からの説明は以上です。

(毛利教育長)

はい、皆さんからのご質問等お願いします。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

では外部の評価者にこれは評価していただいたものは併せて載せて公表するというところをここで同意いただければと思います。よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

それでは今後に向けて動きますので、よろしくお願いたします。ありがとうございました。それでは議案の方は以上で終わり、その他皆さんの方から何かございますか。無ければ私の方から一点だけ触れておきますが、今日来るのがギリギリになったのが、昨日今日でマスコミにも騒がれております熱中症に対することで学校が北海道としてはかなり珍しい初ということもあって休校等の措置をとっております。町内の状況なんですけれども、町全体としては熱中症指数というものがあるんですけれども、詳しい計算式があつて、指数が31になると相当不味いという値になるんです。30近くまで行くことはあるんですけれども、今日あたりは場所によっては31を超えているようなところも見られてきていて、今まさに対応しているところです。町内全部を閉じるとかそういう状況ではありませんけれども、学校によっては地理的状況と人数の問題もあると思うんですけれども、学校を休むという措置も今検討している最中ということで、皆さんにもきちんと数値を測ってそれに基づいて決めているようですよとお伝えいただければと思います。私から報告です。

それでは以上を持ちまして第10回森町教育委員会を終了します。ありがとうございました。